

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2014 年 2 月号 (第 69 号)

発行責任者 薄井 文子



全徳寺のロウバイ 長岡慶一 撮影

3 月 26 日
公開講演会開催

「中国、韓国とどう付き合うか」

元共同通信論説副委員長
藤田 博司

危機をはらむ東アジア情勢について考えてみましょう！

日本と中国、韓国の関係がざわついていきます。日中間はうっかりすると、思わぬ武力衝突も起きかねないほど陰湿な空気が漂っているように見えます。

原因はいろいろ。尖閣諸島、竹島をめぐる領土問題、従軍慰安婦問題、中国の防空識別圏設定、それに安倍首相の靖国神社参拝などなど、紛争の種は尽きません。そのせいか、安倍政権発足からすでに 1 年以上たつのに、いまだに中国、韓国両国首脳と安倍首相の会談も実現していません。日本と中、韓両国との関係は戦後最悪の状態にあるとも言われています。

安倍政権が進めている集团的自衛権行使の見直しや新設された国家安全保障会議、秘密保護法施行の準備作業、さらに将来の憲法改正に向けた動きなども、こ

れらの国々との緊張を高める要因になっています。このままの状態が続いていいはずはありません。相手のあることですから日本だけで解決できる問題ではありませんが、それでも日本として最悪の事態に立ち至らないための努力はしなければなりません。

何より必要なことは、無用に緊張を高めないことでしょう。新聞や雑誌には中国や韓国に対して強気の発言や動きが目立ちます。「嫌中」「嫌韓」といった表現も横行しています。外からの批判や圧力にムキになって反発するという姿勢は、あまり賢明とは思えません。日本として何ができるか、何をすべきか、近い隣国との付き合い方を考えてみたいと思います。

第 3 回文化祭参加者大募集

本年も倶楽部最大の行事「第 3 回ところざわ倶楽部文化祭」を開催いたします。奮ってご参加ください！

開催日：5 月 30 日（金）場所：中央公民館

昨年同様、演劇部門・展示部門同時開催

演劇部門：音楽・舞台劇・舞踊・民謡他

展示部門：写真・絵画・陶芸・書道・手芸他

締切：3 月 31 日 連絡先：杉浦（2949-5560）

藤田博司先生は市民大学各期で国際政治、地方自治について講義。また倶楽部 HP で「見てきた北朝鮮」を 9 回掲載、大好評でした。3 月 26 日公開講演会で「東アジア外交」についてお話しいただく予定です。

ところざわ倶楽部特別会員・傍聴席顧問

※詳細は 3 月号

※講演会タイトルは変わることがあります。

新春事業「サークル説明会・講演会」成功裡に終わる

事業部 甲斐 聖彦



平成 26 年 1 月 30 日(木)新所沢公民館ホールにおいて、ところざわ倶楽部新春事業第 1 弾「サークル説明会・公開講演会」が実施された。

第 1 部サークル説明会では、

まず今回新たに立ち上げられた「食を通して所沢を知る会」「所沢シニア世代地域デビュー支援の会」「みんなで学ぼう認知症」の 3 サークルについて代表者から設立経緯・活動目的等の説明がなされた。

続いて既存の 17 サークルについて、薄井会長が各サークルの目的・具体的な活動状況について、パワーポイントを使って簡潔に説明した。

休憩後、第 2 部公開講演会「高齢社会をどう生きるか PPK84 ってご存知」が実施された。講師は、医療法人啓仁会所沢ロイヤル病院長 大久保清一郎氏、自己紹介後、2025 年問題、埼玉県及

び所沢市における高齢化率と年齢別人口推計の説明、「PPK84：84 歳までは元気でぴんぴんころりんを目指そう」が AKB48 になぞって作られた造語であること、新老人(主に男性)には 5 つのタイプあり、＜肩書き指向型、モノ指向型、若年指向型、先端技術志向型、放浪指向型＞等々、最近



特に話題となる認知症については自己判断方法、対策として好奇心を旺盛にして脳の活性化を図る。生活習慣病たる糖尿病対策等高齢社会への対応について時に機知を含ませつつの講演で終始笑い声につつまれた。

参加者は一般の方を含めて約 130 名、今回新たに設立された 3 サークル中 2 サークルが高齢化社会に関連しており、演題は時機に適していると思いました。倶楽部会員の皆様も具体的で分かりやすい話に集中して耳を傾け、これからの高齢化社会を如何に生きるか深く考えさせられました。

平成 26 年 1 月理事会報告

総務部長 森下 尚洋

1 月理事会は 14 日(火)に開催された。

1 会長事案

- (1) 20 期生、2 つの新サークル設立予定の情報報告
- (2) 1 月 30 日のサークル説明会、17 サークル PP を使用して説明予定

2 総務部事案

- (1) 7 期会員見込み数 261 人、うち会費払い込み済み 251 人を報告
- (2) 「倶楽部のあり方検討委員会」を 2 月か 3 月に発足したい。総務部中心に、人選、内容含め内容を検討する。
- (3) サークル広報担当者、各サークルから報告
- (4) サークル名簿を 2 月末までに報告する。内容、様式を総務部で検討のうえ、メールにて依頼予定

3 事業部事案

- (1) 1 月行事、役割分担、20 期生向け入会受付、集合時間等確認
- (2) 3 月行事、藤田先生講演、会員へ参加呼びかけを
- (3) 文化祭実行委員会、8 名にて準備に入る。広場 2 月号に文化祭の告知を行う
- (4) パソコン講座、連続講座の意見交換

4 広報部事案

- (1) 「広場」1 月号内容紹介
- (2) 「広場」2 月号編成案説明と原稿依頼
- (3) 各サークル広報担当者、負担を少なくし協力を仰ぎたい
- (4) 広報編集員委員会の校正作業の円滑のため、プリンターを購入することを理事会として承認した。

新サークル紹介①

《「食」を通して所沢を知る会》

髙田 良彦

「食」を通して所沢を知る会の立ち上げメンバーは市民大学18期受講生です。これまで私たちは様々な会合、イベントを通して交流を重ねてきました。特に自称「福島を応援する会」を持ち、昨年2回福島県へ買い出しツアーを実施しました。

このような集まりで所沢の「食」についてもよく話し合いました。「安心・安全な農産物を手に入れることができるの?」「“Made in 所沢”という農産物をブランド化しているが知っている?」「所沢野菜という“のぼり”を見たが、あれはな〜に?」「うどんは所沢のスローフードだけどMAPもないね?」「私は“地産地消”レストランを応援したい!」などなど。所沢の食に関連して話をすればするほど知らないことが多いと分かってきました。

このような流れからサークルを結成しよう、という声が強くなり立ち上げのための会合、出前講座を受け、活動の方向性を話し合いました。そして「所沢の食」というキーワードで楽しいコミュニティが

出来る、と確信を持ちました。詳細な活動の詰め作業はこれから行う予定ですが、概略次のような活動内容を目指しています。

- ① 所沢の「食」のあらゆる分野の情報を収集して、「情報通」を目指す。
- ② 「地産地消の生産者」訪問と交流促進。特に「有機野菜生産」に取り組む生産者の応援。
- ③ 所沢スローフードである「うどん」「焼き団子」のMAP作り。
- ④ 地場産食材を利用したレストラン・食堂の掘り起しとPR活動の促進。
- ⑤ 「食」のイベントへの積極参加。

「食」の情報通になることは日々の生活向上に結びつき、またイベントへの参加、レストランの掘り起しなどの活動はコミュニティの輪の広がりに繋がっていきます。

サークル活動の趣旨にご賛同いただき、皆様のご参加をお待ちしています。

【会員募集】代 表 髙田良彦 090-5550-8015 yoshihiko_s@jcom.home.ne.jp

幹 事 小倉洋一(y.ogura5044@beetle.ocn.ne.jp)

岡部まさ子(MAKO.3160.matthew28-20@hotmail.ne.jp)

吉田 麗(yff09813@nifty.com)

新サークル紹介②

《 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 》

鮫島 勝二

市民大学第20期「地方自治」グループワークで「さらなる元気な所沢を創るために ～元気高齢者の社会参加を探ろう～」をテーマに所沢市の実態や八王子、ふじみ野市などの自治体活動を調査しました。その結果、所沢市ではシニア世代に対する「教育の機会」は多く提供されているが、「地域社会活動への呼びかけ」が遅れ気味であるとの感触を得ました。

所沢市は今年から人口減少に移り、更に、20年後には高齢化率38%（2.5人に一人が高齢者）に変貌した街になることが推計されています。人口の4割近くが高齢者である街がいつまでも明るい街であるためには、高齢者の社会参加が「キー（鍵）」になると考えました。

所沢市では、昨年65歳になられた方が5800人、今年5700人、来年6000人と多大な新シニア世代地域社会人集団が今後も継続的に存在することになります。これらの世代の方々に早く、地域社会活動に

ご参加頂くための支援を考えました。

サークルは、これから活動方策の詰めを行います。が、大略、下記の活動を目指しています。

- ① 地域社会活動に関する事例の調査、情報交換による活動方向と具体化（本年度）
＜市内の関連者、団体との協働を進める＞
- ② 1回/年 「所沢シニア世代地域デビュー パーティ」を開催：来年春頃から
- ③ 地域デビュー参加者のサロン開催 1回/月
＜フォローアップ活動＞

【会員の募集】当サークル活動の趣旨にご賛同の方は、下記へご連絡下さい。

代 表: 田口元也 090-9820-5668

m-ta77@jcom.home.ne.jp

事務局: 鮫島勝二 090-8003-1544

k.sammy-sr@jcom.home.ne.jp

サークル活動レポート

《地球環境に学ぶ》

サークル活動の目指すもの

塚本 二郎

地球環境問題を考えるとき、かつては地球温暖化対策が主であり、これは今も変わっていないが福島第一原発事故以来、エネルギー源の選択・省エネがより真剣味をもって論じられるようになった。ここで最近の情勢、所沢市の対策などについて私見を交え私達のサークルの目指す方向を考えてみた。

1. 都知事選

焦点になっている争点の中で、原発をめぐる姿勢の違いが浮き彫りになっている。2月9日の結果の如何を問わず、エネルギー選択を都（国）民の一人一人が考える意義は大きい。充分、冷静で長期的視野に立った論戦を期待したい。

1月中に「原発を重要なベース電源」とするエネルギー基本計画の閣議決定が先延ばしになっている。この選挙後に広く国民的議論になること願うものである。

2. 地球温暖化（IPCC 報告から）

化石燃料の大量使用、緑の減少など地球温暖化は

ほぼ人間の活動結果であると判断した。

気温上昇、異常気象、海面上昇、食料・水不足など地球の持つ再生力を失いつつある。

3. マチごとエコタウン所沢構想

市長の肝いりで発足したこの検討も昨年12月のフォーラムで発表。パブコメの応募、庁内会議をフォーラムでの発表、パブコメの応募、庁内会議を経て近く成案される見込みである。この構想



最近の定例会の様子

の3本柱は①再生可能エネルギーの普及・省エネ②みどりの保全・創出③ライフスタイルの見直し

（モットイナイの心）である。全面的に協力し特に再生可能エネルギーの普及を中心に活動していきたい。

【葵の会 古典講座へのお誘い】

心のふるさと「万葉集」はじまる！

池田 新八郎



「葵の会」サークルは今年で5年目を迎えました。日本の古典文学、古典芸能の学びを継続、現在31名の会員がいます。昨年、ところざわ倶楽部主催の古典講座「現代に生きる芭蕉 奥の細道」で受講者からの要望の多かった「万葉集」（講師は小川達雄先生）の講義を1月16日から毎月1回（第2木曜日）、6回シリーズで開催しています。

葵の会は22年度「万葉集」を学び今回2度目です。23年度が「源氏物語」、24年度「平家物語」、25年度「古事記」を学んできました。4年間古典を教わっている講師の小川達雄先生は長く高校で教鞭をとられ、現在は80歳を超えられています。宮沢賢治の研究家で著書に「盛岡中学生宮沢賢治」「隣に居た天才」などがあり、盛岡中学、盛岡高等農林の後輩です。講義も工夫され、平家物語では平家琵琶を聞かせてくださり、万葉集でも歌に出てくる万葉植物を持ってきて解説してくださいます。大変ユーモアがあり、和気あいあいと学生時代に戻ったような雰囲気です。

万葉集は雄略天皇などの伝承歌を除けば、舒明天皇の時代（629～641）から天平宝字3年（759）まで約

130年間の歌4500首がおさめられています。日本の激動期であり大化改新から壬申の乱、飛鳥、藤原朝を経て平城京の時代の歌が中心となっています。编者といわれる大伴家持の万葉集最後の歌

あらた
新しき 年の初めの 初春の
今日降る雪の いや重け吉事

家持は757年、庇護者橘奈良麻呂のクーデターの失敗で左遷され、

私の故郷の直ぐ近く、因幡の守

（鳥取市国府町）となりました。この歌は降りしきる雪の中、政争に翻弄された家持が編纂した万葉集が永遠であれという祈りの気持ちを表しているのではとされています。（元旦の雪は豊年になる前兆。）

倶楽部会員の皆さん、日本の心のふるさと「万葉集」を共に学んでみませんか。

（連絡 池田 ☎2940-0711）



《私の提言③》

つながりの質を高める

平栗 彰子

・・・協力し、知恵を出し合うこと・・・

今年は年初から、気候も世の中も変動の厳しい幕明けとなりました。

昨秋の「ところざわ倶楽部」7回目の定期総会では、多岐にわたる活動が報告され、広報も「広場」とHPの二本立ての展開が定着しました。発足当初運営に携わり、「広場」を発行した頃を考えますと、充実した内容への発展をうれしく思いながら、時には初心に立ち返ってみることも必要と感じています。

「ところざわ倶楽部」の目的は、市民大学での学びを地域に還元することだと理解しています。倶楽部は会員により自主的に運営されています。学びを続け、磨きをかけることによって会員個人の資質の向上と周りへの波及効果も期待されます。

活動形態がサークル単位であることも重要な点です。倶楽部の組織は、全体を動かす理事会と活動の主体となるサークルで成り立っていて、その関係は、車の両輪のように安定して明快なものであるのが理想的です。理事会とサークルの双方向からの提

案を丁寧に練り上げ、協力体制を整えていかれるよう期待します。

各サークルが目標を持って、自分たちの住む地域社会の現状を知り、暮らしやすい環境にするために、考える仲間を増やしていくことが望まれます。個人もサークルも知恵を出し合いつながっていくことで、個々の学びが深まる体験をする機会も増えると思います。

20世紀の女性哲学者、ハンナ・アーレント*は、昨年は映画にもなって話題を呼んでいます。その中で、人は考えることで強くなる、と言っています。そして、物ごとに対しては複数の視点を持つことが大切だと説いています。

考えることによってつながりの質が高められ、今年は、ただの仲良しクラブではない一味違う「倶楽部」になることを期待いたします。

(*「今こそアーレントを読み直す」)

仲正昌樹著 講談社現代新書)

こんな事あんな事 ⑤

器楽合奏の楽しみ

荒木 洋哉

退職後何を中心に生活するかを模索していたおおよそ8年前、市民大学で知り合った仲間に毎年暮れの第九にコーラスで参加している人が何人かいた。若い頃にオーケストラ経験はあるものの、コーラスには興味はなかったが仲間の活動に心を動かされた。70歳を超えたら新しいものを始めるのも一つの挑戦という仲間に習ってコーラスを始めた。所沢混声合唱団に入団し、そして暮れの第九にも参加した。どれも新鮮で楽しい経験だった。

一方で、30年近く休眠していたチェロを再開し専ら家の中で弾いていたが、コーラスを経験していくにつれ演奏会の際に目の前で演奏するオーケストラにも参加したい気持ちが強くなってきた。

そんな経緯から市内で活動している弦楽合奏のグループに加わり、40数年振りに合奏の楽しさを味わった。更にフルオーケストラも経験するため昨夏所沢フィルハーモニー管弦楽団に入団した。そこで取り組むことになった第九は思いのほか難曲で、毎日の練習が欠かせない状態になり8月からの4か月間は結構忙しい日々となってしまった。

12月8日、第31回「所沢で第九を」の本番は2000人を超える聴衆の前で無事終了、ひと時の達成感に浸

った。

第九終了後も引き続き所フィルのメンバーに残ることにした。6月の定期演奏会用の曲への取り組みが既に始まっている。

退職当時、時々楽しむ程度と思っていた楽器演奏が今のところ中心的存在となっている。現在、所フィルの外に2つの弦楽合奏団と、とことこバンドにも所属している。

いつまで続けられるか分からないが、とにかく楽しく、演奏会の終わった後の達成感、お酒のうまいこと。



昨年「所沢で第九を」の本番風景

(筆者はチェロの3列目)

【市民大学は今】

21 期 課外学習

第 21 期企画委員

二上 拓夫

『モネ展』を鑑賞する ～上野の国立西洋美術館～

正月明け授業休みの 1 月 9 日に、課外授業で「モネ展」鑑賞会が開催されました。

昨年 11 月末に美術の授業があり、モネの絵画についての説明を受けた影響もあり、参加者も 53 名と関心の高さが判る企画でもありました。当日は寒さも和らいで天候も雨にもならず、風もなく、皆さん元気に上野駅・公園口に集まって来ました。集合場所では、今年初めての顔合わせで『おめでとう！』の挨拶が飛び交いました。展示会の前に腹ごしらえと、駅近くの食事会場「音音」にてシッカリと食事をとってもらいました。食事の合間に、「モネ展」鑑賞のポイントについて授業の復習と展示会への予習を行いました。

ポイント

・モネは印象派の中で、最も印象派らしい一光と色彩にあふれた作品を生み出した画家ー

・モネが見ていた景色とは？
・モネになったつもりで絵を見てみよう！ー近づいたり、離れたたり、・いろいろな角度からー

展示会場は、正月休み後の平日という事もあるのか、ゆっくりと鑑賞出来る程度の混み具合でした。課外授業の制限は、展示会場の入場まで、各人のペースでの鑑賞に任せ自由解散と致しました。

「モネ展」鑑賞の印象は、「色彩分割」や混ぜない鮮やかな色・筆の置き方などが実感できましたね。遠くに離れて見る絵は、湖の水面であれ、人物であれ、木々であれ、絵全体の中にシッカリと表現されている。それを近づいて見ると、いろいろな色の絵具が筆で重ね置きされているだけで、形をなしてない。

それが離れて見ると草花や雲、さらに風までも感じられてくる絵になる、まさに授業で教えられた事を実感できた貴重な経験でした。



【市民大学は今】

22 期市民大学企画委員会の現状

22 期広報委員

田口 元也

第 20 期のグループ発表会が修了してホッとすまもなく、第 22 期所沢市民大学の企画委員の要請を受け、大変お世話になった市民大学へ「倍返し」をしなければいけないだろうとの思いでお引き受けしました。

第 1 回の企画委員会は、昨年の 11 月 12 日に開かれ、各所属グループから選出された 15 名と 20 期企画委員 4 名の 19 名でスタートしました。生涯学習推進センターからは、事務局として引き続き糟谷・大塚さんのお二人に担当していただくことになりました。

企画員役員は、委員長に齊藤正武氏（日本の芸能）、副委員長は村井弥亮氏（放射線の科学）、安田好子氏（所沢市史）、監査は佐藤滋氏（音楽）、広報編集委員として田口元也（地方自治）が決まりました。

企画委員会は毎週火曜日に開催、すでに 9 回

の回数を重ね、継続講座、新規講座、特別講座などのカリキュラム編成を検討しているところです。新規講座では、環境問題に関心が高く「異常気象」「地球温暖化」「大気汚染」の候補が、そして社会問題にもなっている高齢者社会に対

応した「中高年の生き方」があがっており、講座内容、講師交渉などで新しい分野への挑戦をしているところです。また、継続講座でも従来の講座内容をそのまま踏襲するのではなく、①新しいキーワードが込められている、②日常の暮らしの中からの視点でとらえる、③2 年次のグループ

研究の課題も提起する、といった生涯学習のねらいに沿った学習内容に心がけているところです。

1 月 21 日には、全員参加の「新年会」を開催し、企画員相互の交流を深め新年度に向けて決意を確認いたしました。



サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか

アジア研究会(杉浦正紀 2949-5560) 2月19日(水) 13:30～16:30 定例会 中央公民館 講演「ネパールの旅」 3月19日(水) 13:30～16:30 定例会 中央公民館 海外赴任体験談を予定(詳細後報)	葵の会(池田新八郎 2940-0711) 2月13日(木) 中央公民館 (13:30～16:00) 古典講座「万葉集」第2回「アイドル賛美」 3月13日(木) 中央公民館 (13:30～16:00) 古典講座「万葉集」第3回「万葉集の美しい声」
公園を楽しむ会(渡部正俊 2921-3014) 2月27日(木) 横浜中華街方面の散策 所沢駅集合 3月20日(木) バス旅行 所沢駅東口集合 海ばた、鋸山の地獄のぞき、日本一 の大仏さま、道の駅で買い物 etc	楽悠クラブ(甲田和巳 事前連絡は不要) 2月12日(水)①映画「ルートヴィヒⅡ」後編 ②ベートーベン 交響曲第2 鑑賞(場)中央公民館#8・9(時)13:15 3月11日(火)①歌劇「スパーダの女王」前編 ②ベートーベン 交響曲第3 鑑賞(場)中央公民館#8・9(時)13:15
地域の自然を考える会(広沢正巳 2939-9181) 2月9日(日) 早稲田オオムラサキ越冬幼虫観察(9:30～ 2月25日(火) トトロ12号地管理作業(10:00～12:00) 3月25日(火) トトロ12号地管理作業(10:00～12:00)	地域の自然(多胡國男 2993-6143) 2月22日(土) 09:00～ 落葉掃き後の整備 場所:さいたま緑の博物館調査地 3月08日(土) 09:00～ 落葉掃き後の整備 場所:早大B地区調査地
地球環境に学ぶ(塚本二郎 2942-3117) 2月18日(火) 定例会 9:00～11:00 新所沢東公民館 各自の課題発表。新年度の実施計画の話し合い②。 3月18日(火) 定例会 9:00～11:00 新所沢東公民館 興味のある方、覗いてみて下さい。	地域の祭り研究会(加藤敏恭 2923-5263) 2月20日(木) 幹事会 新所沢公民館 3月20日(木) 幹事会 新所沢公民館
所沢の自然と農業(清水仁一 2944-8835) 2月13日(木) 13:00～定例会 新所沢公民館 2月下旬予定 中富 長谷川農園落ち葉掃き 3月13日(木) 13:00～定例会 新所沢公民館 3月下旬予定 花見又は軽登山又はハイキング	所沢の自然と農業(清水仁一 2944-8835) 2月13日(木) 13:00～定例会 新所沢公民館 2月下旬予定 中富 長谷川農園落ち葉掃き 3月13日(木) 13:00～定例会 新所沢公民館 3月下旬予定 花見又は軽登山又はハイキング
野老澤の歴史をたのしむ会(小倉洋一 2949-4695) 2月20日(木) 鎌倉街道、講義 中央公民館 13:00 3月6日(木) 狭山三十三観音巡り(詳細別途)	ドラマティック・カンパニー(小坂英子 2995-1495) 2月15日(土) 3月1日(土) いずれも10:00～12:00 『ヘンリー六世』を読み進めるとともに、文化祭で朗 読する『トロイアの女たち』を練習します。 会場:新所沢東公民館
懐かしの映画・鑑賞会(二上拓夫 080-1250-6151) 2月11日(火) 10:00～12:30 西新井町公民館 ■「洋画 誰がために鐘が鳴る」(43年) バーグマン 2月25日(火) 10:00～12:30 西新井町公民館 ■「邦画 八甲田山」(77年) 高倉健・北大路欣也	傍聴席(高垣輝雄 2926-7164) 2月17日(月) 定例会、14時～ 新所沢東公民館 ①26年度総会:年間活動計画等 ②意見交換:市議会の政策討論会を聴いて ③情報交換:会員の様々なスキルや地域活動について
北欧の会(樋口俊夫 090-6483-7993) 3月1日(土) 第46回例会 15時00分 アンデルセンと宮沢賢治の世界 3月29日(土) 第47回例会 13時20分 場所 新所沢東公民館	民話の会(仲山富夫 090-3902-0283) 2月21日(金) 中央公民館7号室 民話朗読会 3月21日(金) 民話由来地めぐり 東光寺～塚ノ越地蔵尊～滝之城跡
歴史散策クラブ(大河原功 2943-2004) 2月15日(土) 下山口駅改札外 9時30分集合 コース:桜地蔵～来迎時～(略)～狭山不動～山口観音 3月8日(土) 東村山駅国分寺線ホーム中程 9:20 集合 狭山丘陵南麓を歩く(3月15日全体会議、28日根古屋城址)	歴史を楽しむ野老会(居田治 2903-8400) 2月21日(金) 等々力溪谷とその周辺を訪ねる 3月14日(金) 所沢を歩く-永源寺、長久寺他 4月4日(金) 大石氏ゆかりの城跡を訪ねる(マイクバスで) 八王子城、滝山城(桜)

《マロの健康法》 (o^—^o)

『マロの健康法はどのようなものでおJAL?』とご婦人から尋かれたら『ANA たにだけ教えまひよ。城山三郎の「還暦からの心得5カ条」(広場68号5ページ参照)を守って、ストレスをためないことがまず第1でっしゃろ。(一;)次に、ご本を読みながら(ゴホンといえば龍角散どすけど)阿里山や鉄観音、ベトナム蓮茶などを味わいつつ飲みます。またモルダウや美しき碧きドナウなどクラシックを聴きながら、プラハやウイーンの光景を目をつぶって思い浮かべ、そのまま寝てしまったり。(^人^)。健康のため歩いて所沢駅に行き、メトロ1日乗車券を買って、寄席や美術館に行ったり都心を散策、読書会やジョークのサークルに参加したり……。先日もジョークをまじえたトークショウをやって笑っていたき満足、満足。これも健康法どす……。』と答えまひよか……(#^.^#)

でも現役時代、友人に『きのうピアホールで飲んでただろ? 島ちゃんのあの笑い声でわかったよ』とか、両国国技館へ相撲見に行った翌日、『テレビで相撲見てたら、あんたの野次が聞こえてビックリ。でかい声だねえ』と大先輩に云われたんどす。(＞_＜)。大いに笑ったり大声を出すことは、NK細胞を活性化して健康にとってもええんどすえ。これは医学的にも証明されています。

海外旅行で文句も云わず添乗員をしてくれるカミサンに謝々。やっぱり『有り難い』と思う気持ちを持つことが何よりの健康法でおJALかと……。 (o^—^o)

島川 謙二



むさし野俳句会 (二十六年一月) 作品抄



臍(へ)かがみを伸ばしひとりの小正月 平栗 彰子
切り株の程よき高さ日向ぼこ 荒幡千鶴子
枕辺の母に聞かせし賀状かな 井出 昇
幼子は時の氏神初笑 海老澤愛之助
連々と寒林過ぎる列車の灯 粕谷のぼる
恩師より確と楷書の年賀状 河瀬 俊彦
ウイーンからワルツに乗って御慶かな 小林 貞夫
踏切にいのちの電話冬すみれ 小林 典子
大寒や餌を遣るホームレス歌人 佐藤 八郎

夜明け前埋(うづ)み火探る旅の宿 飯泉 陽子
泣きべその子にも意地あり寒稽古 白神 恵子
イルカショーしぶきを浴びて初写真 高梨 千代
初買は吉野の葛や兄見舞ふ 高橋三加子
なつなうつははのうたひしうたまねて 高光 泉
屠蘇を干す百一歳の母あます 中嶋 弘子
めぐり来る地動の予感冬木の芽 中村 直子
参道の飴切る音の二日かな 橋本 佑子

《編集後記》

埼玉県は、埼玉地場料理「S級グルメ」、30店を選定発表した。県産食材を使うなどの伝統的な地場料理の提供店舗を認定する「埼玉S級グルメ」で、第1弾として30店舗を選定した。昨年、広く応募をかけた結果、自薦他薦多くの応募が寄せられたそう。約300店舗の候補の中から、120店程の取材を行い、有識者による審査を経て決定されたそう。認定店を官民でアピールし、埼玉発の食文化と県内観光を発信するとのことであった。「S級」とは、SaitamaとSpecialの頭文字から名付けられたそう。

一番気になるところである我が所沢市のお店はどうか? よかった～、『割烹 美好』が一店舗選ばれた(ちなみに上位は、さいたま市7店舗、川越市3店舗、飯能市2店舗、越谷市2店舗)。又、認定店

舗を訪ねる県内観光の計画があるそうで、この2月に、3コースの日帰りツアーを企画しているそう。

今回選ばれた店舗は、大概が老舗といわれるお店であった。「ふう～ん」。偏屈な私は、応募された300店舗名を知りたいものだと思ってしまった。

▼紙面がなくなってしまったが、今期の広場は、新規に「私の提言」「こんな事あんな事」等、リレー方式による掲載を始めました。広場は開かれた広報紙として「全会員参加による紙面づくり」を合言葉に、新しい企画も考えてまいります。サークル代表の広報委員の皆様、倶楽部の皆様、情報提供、原稿協力を宜しくお願い致します。 記 仲山富夫

